2			等専門学	校   開講年度   平成31年度 (2	ZU19年度)	授	業科目	工学セミナー	
2番形紙 野科					T		T		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##							,		
2					1			1	
独生の対象 なし  田徳日標				境テサイン工学科 					
回動の					週時間数	2			
別達日屋									
1. 旧有音波の波蘭 2. 平葉明光生の以内作業  レーブリック  - 理節的な到達レベルの目覚 - 5 年本化度の副心卒業研究機能の - 口が多くなっている研究に対して - 田原治説の性素を含わらいている研究に対して - 田原治説の自動を素を表す。 - 日本は登場を含わらいる研究に対して - 田原治説の自動を素を表す。 - 日本は登場を含わらいる研究に対して - 田原治説の自動を素を表す。 - 日本は登場を含わらいる研究に対して - 日原治説の可能のように対しては関係の自動を対している研究に対して - 日原治説の可能のように対しては関係の自動を対している研究に対して - 日原治説の可能のように対しては関係の自動を含まった。 - 日本の自己に対して、一 学者が主ない。 - 日本の自己に対して、一 学者が主ない。 - 日本の自己に対して、一 学者が主ない。 - 日本の自己に対して、一 日本の自己による研究が関係を含わらい。 - 日本の自己に対して、一 日本の自己による研究が関係といっている研究の自動を対して、一 2年 日本の自己に対して、日本のに対して、日本のに対して、日本の自己に対して、日本のに対して、日本のに			内田	平,堤 隆,山内 正仁,山田 真義,川添 敦也	}				
2. 卒業所実生の共同作業 レーブリック	到達目	漂							
理想的な創造レベルの自安	1. 既存 2. 卒業	論文の調査 研究生との	: : :共同作業						
日本次に限り組分型素研究課題の 研究対象について、専門分野で の提供 あない。は自然がある。 となっている研究があた。これに、研究データの決定 のに関する。はは自教教ののは自動教育ののに関すがない。 のに関する。はは自教教ののは自動教育ののに関すがない。 会な研究では一致にして、卒業研究生と共同作業 を進して、まず研究と分析のもい は研究計画を立て、5 年次の卒業 が発生の一ない。研究データの教育が、 様々方ととしている研究があい。 会な研究では一致にいる研究がは一致をいい。 会な研究では一致にいる研究がは一致をいい。 会な研究では一致にいる研究を対象でして、2 年初が変との中的では、 様界気が自動を立て、5 年次の卒業 が発生の一とし、研究を必ずの研究を関する。また、中・リン教育も自動をのでしている研究 者を主目をとする。そのため、研究整面で無なは取り生ましたが必要である。また、中・リン教育も自動ない。 を主目をとする。そのため、研究整面で無なは取り生ましたが必要である。また、中・リン教育も自動ない。 を主目をとする。そのため、研究整面で無なは取りましたが多生をともいる研究にある実践を重なとの使作方が 得することで、研究テーツ関連の関係特別を通常する。また、よっ、リー等内が知識をしままが、助力。 を主目として、まる公式に参加すて、10 年の分別は優し生まり、カーカトを限しているのが、関う 力力を限しつか、ラスとれた参加すでは一致とする。 研究をは自動な事態がある。また、キャリン教育も自動なのが、関から 力力を限しつか、また、よっ、サーリン教育も自動なの対象である。また、キャリン教育も自動ない。 第一次主体では一致な事態がある。また、キャリン教育も自動なのが、関立 が完全のでは一致な事態がある。また、キャリン教育も自動なが、関立といるのが、関す。 を選を関する。こと、キャリン教育の一様とする。 研究をは自動な事態がある。また、キャリン教育も自動なが、関立といるのが、関連ないを置い、とのが、 力力を限しい、よっなのののでは、研究を対して、研究を対し、しては自動教育 生の注意を関する。といてきる。ののでは、研究をの研究活動が決定を理解する。 3回 研究整合の研究活動が決定を理解する。 3回 研究整合の研究活動が決定を理解する。 3回 研究整合のでは、研究をの研究活動が決定を理解する。 3回 研究整合の研究活動が決定を理解する。 3回 研究整合の研究活動が決定を理解する。 3回 研究を紹介・研究をの研究活動が決定を理解する。 3回 研究を紹介を表しているできる。 3回 研究をのが活動・現存するの場合。 4年教主のいたすることができる。 3回 出的程業 研究をのの活動・現存するの場合。 ・発展をの研究でで関連の命文を読み、目的 の方が、使用できる。 ・発展変のの強力を発表したいできる。 を研究をのが用で、一な関連などの特性 を開発をしていている実験を固などの特性 を関係し、使用できる。 ・発展するの関係で、といてきる。 ・各研究をの研究で一な関連などを発揮 ・発展するのの場合。 を研究をのののでで、不認しの命文を読み。目的 の方が、使用できる。 ・名研究をの研究で一な関連などを発揮 ・発展のののでは、研究を表し、目的できる。 を研究をののでする、対している。 を関係し、使用できる。 ・名研究をのではよれたしている。 を理解し、使用できる。 ・名研究をのののでで、不可能の命なとな活み。目的 の方が、使用できる。 ・名研究をのがまたる。 を理解し、している。 を発生のののでで、対しないるにないが作 を関係し、使用できる。 ・名研究をのののでで、対しないるにないが作 を理解し、使用できる。 ・名研究をののできるが、自動などの特性 を理解し、使用できる。 ・名研究をのがまたるが、自動などをと思す。 ・名研究をのがまたる。 ・名研究をのがまたる。 ・名研究をのがまたる。 ・名研究をのがまたる。 ・名研究をのがまたる。 ・名研究をのがまたる。 ・名のでは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは	ルーブ	リック							
神				理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レク	ベルのE	]安	未到達レベルの目安	
審について、至秦朝政主と共同作業を強して東級が大から州から、日本の大力では、日本の大力	評価項目1			研究対象について、専門分野で現 在対象となっている研究に対して 、既存論文の調査や検索を事前準 備として行い、研究テーマの決定	の現在対象となっている研究対象 の把握、あるいは指導教員の指導		る研究対象 教員の指導	土木建築環境分野の各専門分野での現在対象となっている研究対象の把握がなされていない。	
数有方法等  本科目は、都市環境デザイン工学科の各研究率の研究内容を理解し、5年次に行われる卒業研究に円滑に着手できる。 を主目優とする。そのため、研究室配属後は真政科生および5年生ともに各研究室にある実験経菌などの操作方式 伊育ることで、研究テーマ関連の原存研究を論言することが必要である。また、キャリア教育も自動なの所で発す。	评価項目	2		各卒研班で進められている研究内 容について、卒業研究生と共同作 業を通して実験方法や分析あるい は研究計画を立て、5年次の卒業	業を通して実験方法や分析あるい		ハる研究内 生と共同作 分析あるい	各卒研班で進められている研究内容について、卒業研究生と共同作業を行う。	
数有方法等  本科目は、都市環境デザイン工学科の各研究率の研究内容を理解し、5年次に行われる卒業研究に円滑に着手できる。 を主目優とする。そのため、研究室配属後は真政科生および5年生ともに各研究室にある実験経菌などの操作方式 伊育ることで、研究テーマ関連の原存研究を論言することが必要である。また、キャリア教育も自動なの所で発す。	学科の	到達目標	<u></u> 項目との	要係					
本料目は、都市環境デザイン丁学科の各研究室の研究内容を理解し、5年次に行われる卒業研究に円滑に着手である。 を主目標とする。そのため、研究予価度後は重り体はおよび5年生ともに名研究室の場合の場合が分解することが、現存を開催しているである。また。キャリア教育も目標の一部に取り力を身につけ、与えられた制約下で計画的にものづくりの手法を活かして問題を解決できる能力を養うしための方がと環境を確定する。  5年次の卒業研究に直結する。キャリア教育の一環とする。 研究率には危域な薬品や死傷する可能性のある実験装置が存在する。そのため、それらの使用に関しては指導教員生の注意を続けずること。や薬生による出研変薬をしつかり聞いて、将来設計の一助とする。投業(90分)×15回 受業計画  「理案内容 関策計画  「理案内容  「関策を紹介 研究薬の研究活動状況を理解する。 別究薬の研究活動状況を理解する。 別究薬紹介 研究薬の研究活動状況を理解する。 別究薬紹介 研究薬の研究活動状況を理解する。 別究薬紹介 研究薬の研究活動状況を理解する。 の研究薬紹介 研究薬の研究活動状況を理解する。 の研究薬の研究活動状況を理解する。 の研究薬の研究活動が大きることができる。 ・ 5年担任のもと配属研究薬を決定する。 ・ 8種研究薬の研究テーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ、解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学のインにも含まるを読み、目的 の方法、使用データ、解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学のインにも含まるを読み、目的 の方法、使用データ、解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などを整理 ・ 5年代学研究・マーマ間連の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などの操作 を理解しためることができる。 ・ 4年代学の研究・マーマ間違の論文を読み、目的 の方法、使用データ・解析方法・結果などの操作 を理解しためによれている。 ・ 5年の研究を示すが、 5年の									
接続 研究室には危険な薬品や死傷する可能性のある実験装画が存在する。そのため、それらの使用に関しては指導教員 生の注意を厳すすること。卒業生による出前授業をしつかり聞いて、将来設計の一助とする。授業(90分)×15回 受業計画    週	概要		を主目を 得する。 、卒業 力を身	票とする。そのため、研究室配属後は専 ことや,研究テーマ関連の既存研究を調 生による就業体験を踏まえた出前授業を につけ、与えられた制約下で計画的にも	攻科生および5年生 査することが必要で 行う。本科目により	Eととも である。 り、「!	らに各研究室 。また、キャ 専門分野の矢	にある実験装置などの操作方法を ッリア教育も目標の一部に取り入れ D識と自主的・継続的に学習する能	
世の注意を厳守すること。卒業生による出前授業をしっかり聞いて、将来設計の一助とする。授業(90分)×15回 受業計画    週	受業の進	 め方・方法							
受業計画    選加   投業内容   週ごとの到達目標   週ごとの列達目標   週ごとの列達目標   週ごとの列達目標   週ごとの列達目標   週ごとの列達目標   月空室紹介   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動が、定理解する。   研究室の研究活動で、定ができる。   「新来設計の一助にすることができる。   「新来設」の「「「「「「「「」」」」   「「「「」」」   「「「」」   「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「「」」   「」」   「「」」   「」」   「「」」   「」」	注意点		研究室	には危険な薬品や死傷する可能性のある	実験装置が存在する	る。その	のため、それ	1らの使用に関しては指導教員・上紙	
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 3回 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 3回 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 3回 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 4週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 4週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 5週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 6週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 8週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 9週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 10週 研究室配属とミーティング ・5年型研の上とが開発を決定する。 - 4指導教員と打ち合わせを行い、今後の活動を理 - 5年2年の上とが開発を決定する。 - 4指導教員と打ち合わせを行い、今後の活動を理 - 5年2年の上とが開発を入止ってに始めることができる。 - 5年2年の日本でスムーズに始めることができる。 - 4年の発を入れって、自動で主な読み、目的究方法、使用データ・解析方法・結果などを整理、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 - 5年2年の研究テーマ間連の論文を読み、目的究方法、使用データ・解析方法・結果などを整理、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 - 5年2年の研究テーマ間連の論文を読み、目的究方法、使用データ・解析方法・結果などを整理、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 - 5年2年時卒研をスムーズに始めることができる。 - 5年2年解し、使用できる。 - 5年2年解し、使用できる。 - 5年2年解し、使用できる。 - 5年2年解し、使用データ・解析方法・結果などを整理、5年2年解し、使用データ・解析方法・結果などを整理、5年2年解し、位用できる。 - 5年3年7年2年7日2年7日2年7日2年7日2年7日2年7日2年7日2日2日2日2日2			生の注	<b>忌仏戚寸りるにと。쑤耒土による出則坟</b>	未でしつかり聞い	(、 符)	不設計の一氏	ガ <b>ム y る。</b> 奴耒(YU刀)×15凹	
1週 研究室紹介   研究室の研究活動状況を理解する。   「特定数量を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を関係を	<b>皮美計</b>	쁘	l.e	Issue Leb	1	VIII. " :			
3週 研究室紹介   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   研究室の研究活動状況を理解する。   一般形質業   将来設計の一助にすることができる。   一般形質業   将来設計の一助にすることができる。   一般形質業   将来設計の一助にすることができる。   一般形質業   将来設計の一助にすることができる。   一般形質   将来設計の一助にすることができる。   「本理計の一助にすることができる。   「本理計の一助にすることができる。   「本理が表別を対している。   「本理が表別を対している。   「本理が表別を対している。   「本理が表別を対している。   「本理解し、使用できる。   「本理解し、使用できる。   「本理解し、使用できる。   「本理解し、使用できる。   「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本理解し、使用できる。   「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整め、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本理解し、使用できる。   「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本理解し、使用できる。   「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を整理、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を整理、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本研究室の研究デーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本研究室の研究デーマで関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 「本研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用データ、解析方法・結果などを整理、 「本研究室で使用されている実験装置などの発作を理解し、使用データ、解析方法・結果などを整理、 「本研究室で使用されている実験装置などの整理を理解し、使用データ、解析方法・結果などを整理、 「本研究室で使用されている実験装置などの発作を理解し、使用できる。									
3週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 4週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 5週 研究室紹介 研究室の研究活動状況を理解する。 6週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 7週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 8週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 8週 出前授業 将来設計の一助にすることができる。 10週 研究室配属とミーティング 指導教員と打ち合わせを行い、今後の活動を理 5 年中の土配属研究室を決定する。 指導教員と打ち合わせを行い、今後の活動を理 6 名研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 6 世界レ、使用できる。 4 名研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 6 名研究室で使用されている実験装置などの操作 6 を理解し、使用できる。 7 名研究室で使用されている実験装置などの操作 7 年時卒研をスムーズに始めることができる。 8 日前交方法・使用テータ・解析方法・結果などを整理 7 年年時卒研をスムーズに対めることができる。 6 名研究室で使用されている実験装置などの操作 7 年時卒研をスムーズに対めることができる。 7 名研究室で使用されている実験装置などの操作 7 年年時卒研をスムーズに対めることができる。 8 日前突方法・使用テータ 解析方法・結果などを整理 7 年年時卒研をスムーズに対めることができる。 8 日初究室で使用されている実験装置などの操作 7 年年時卒研をスムーズに対めることができる。 9 名研究室で使用されている実験装置などの操作 7 年間できる。 8 日の第2章で使用されている実験装置などの操作 7 年間で記述を整理が、使用できる。 8 日の第2章で使用されている実験装置などの操作 8 日が究室で使用されている実験装置などの操作 8 日が完室で使用されている実験装置などの操作 8 日が究室で使用されている実験装置などの操作 8 日が記述を整理 7 年間で記述を整理 7 年間で記述を整理 7 年間で記述を発生で使用されている実験装置などの操作 8 日が記述を発生で使用されている実験装置などの操作 8 日が記述を発生 7 年間で記述を発生 7 年間できる 7 年間で記述を含える 7 年間では 7 年間で記述を発生 7 年間で記述を含えるできる 7 年間できる 7 年間で記述を含えるでは、7 年間では、7 年間では、7									
3rdQ  4週 研究室紹介  5週 研究室紹介  5週 研究室紹介  6週 研究室紹介  7週 出前授業  7週 出前授業  7週 出前授業  7月									
3rdQ   一切   一切   一切   一切   一切   一切   一切   一			3週	研究室紹介	研究室の研究活動状況を理解す		<b>伏況を理解する。</b>		
13週		3rdO	4週	研究室紹介		研究室の研究活動状況を理解する。			
7週 出前授業   将来設計の一助にすることができる。   8週 出前授業   将来設計の一助にすることができる。   9週 出前授業   将来設計の一助にすることができる。   9週 出前授業   将来設計の一助にすることができる。   10週   研究室配属とミーティング   ・5年担任のもと配属研究室を決定する。   ・指導教員と打ち合わせを行い、今後の活動を理る   ・8研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理   ・5年生時卒研をスムーズに始めることができる。   ・6研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理   ・5年生時卒研をスムーズに始めることができる。   ・6研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用できる。   ・6 研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用できる。   ・6 研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用できる。   ・6 研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用できる。   ・6 研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用できる。   ・6 研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、 6 研究室で使用を対象を発音を発音を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を使用を		JiuQ	5週	研究室紹介		研究室の研究活動状況を理解する。			
8週 出前授業   将来設計の一助にすることができる。			6週	出前授業		将来設計の一助にすることができる。			
8週 出前授業   将来設計の一助にすることができる。			7週	出前授業					
10週   田前授業   将来設計の一助にすることができる。   5年担任のもと配属研究室を決定する。   10週   研究室配属とミーティング   ・ 5年担任のもと配属研究室を決定する。   ・ 5年担任のもと配属研究室を決定する。   ・ 5年担任のもと配属研究室を決定する。   ・ 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本理解し、使用できる。   ・ 8研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室の研究テーマ関連の論文を読み、目的究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理、 6本研究室で使用されている実験装置などの操作を理解し、使用できる。									
10週 研究室配属とミーティング									
11週 研究室内の活動 ・既存論文の調査 ・5年卒研生との共同作業 ・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 に 使用できる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・ 各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・ 各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・ 各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・ 各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。 ・ 各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・ 各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・ 各研究室で研さ入ムーズに始めることができる。 ・ 各研究室で研さ入ムーズに始めることができる。 ・ 各研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。		4thQ				・5年担任のもと配属研究室を決定する。 ・指導教員と打ち合わせを行い、今後の活動を理解す			
2月	後期		11週					・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的・6 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理し ,5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作方法	
田			12週				・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み、目的・代 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理し 、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作方法		
日本語			13週			・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的・研究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理し、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作方法を理解し,使用できる。			
15週 研究室内の活動 ・既存論文の調査 ・5年卒研生との共同作業 究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理 ・既存論文の調査 ・5年卒研生との共同作業 ったる研究室で使用されている実験装置などの操作 を理解し、使用できる。			14週				1		
16调			15週			・各研究室の研究テーマ関連の論文を読み,目的・研究方法・使用データ・解析方法・結果などを整理し、5年生時卒研をスムーズに始めることができる。 ・各研究室で使用されている実験装置などの操作方法を理解し,使用できる。			
10/2			16週						

評価割合									
	活動状況評価	レポート	態度	合計					
総合評価割合	70	30	0	100					
基礎的能力	0	0	0	0					
専門的能力	70	30	0	100					
分野横断的能力	0	0	0	0					